

広島県立沼南高等学校卒業 野村 和歌葉さん (有限会社 有田園芸農場)



野村 和歌葉(のむら わかば)さん(19歳)は、広島県立沼南高等学校園芸デザイン科を卒業後、平成30年4月に東広島市安芸津町にある(有)有田園芸農場に就職就農しました。沼南高等学校園芸デザイン科では、園芸福祉類型に所属し、草花栽培、フラワーアレンジメント等について学びました。(有)有田園芸農場では、沼南高校で学んだ園芸の知識と技術を生かし、花や野菜苗の生産業務に関わっています。

○野村和歌葉さんの就農までの道

農業高校
(県立沼南高等学校)

就農
(有)有田園芸農場

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？

非農家出身で、高校入学までの農業経験は野菜の収穫などの手伝いや小学校での体験作業でした。将来花に関わる仕事に就きたいという強い思いがあり、授業で花の栽培管理、フラワーアレンジメントの作成、園芸福祉的活動について実践的に学べる沼南高校園芸デザイン科への進学を決めました。

高校で学んだことは？

沼南高校園芸デザイン科に入学し、花や野菜栽培の基礎的な知識と技術を学びました。2年次には園芸福祉類型を選択し、草花の栽培技術の向上や草花の活用方法について学びました。3年次の課題研究(草花班)では「人間の第五感フル活用～私たちが届ける園芸福祉の喜び～」と題して、草花を福祉的に活用する方法について研究しました。同じく3年次に県学校農業クラブ「フラワーアレンジメント競技会」で優秀賞を受賞し、全国産業教育フェア秋田大会に出場しました。全国の高校生の技術レベルの高さを目の当たりにすることができ、貴重な体験を得ました。

沼南高校園芸デザイン科での学習を通して、草花栽培に関する基本的な知識・技術の習得と共に忍耐力・集中力・創造性などの力を身に付けることができました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

商品として良いものを出せるときや多くのことを学び、就職後にできるようになった作業が増えていくことと、自分の手で育てた植物が大きく育っていると感じるときなどにやりがいを感じています。



(有)有田園芸農場(東広島市安芸津町)は、瀬戸内海の多島美が身近な東広島市安芸津町と竹原市に農場をもち、「園芸・農業・加工食品」を3本柱に据え、農作業の代行サービスやイベント・催し・講習会等の地域支援業務にも重きを置き、地域とのつながりを大事にした事業展開をされています。取引・販売先は全国におよび、こだわりのスーパー、百貨店、道の駅などで、「生産者の見える商品を販売したい、食したい」という消費者・取扱者を模索しておられます。新たな商品開発や事業展開も積極的で、ホームページからもその前向きな姿勢がうかがえます。